

2008.7.19



大作曲家の隠れた名曲・佳曲を集めて **第3回**



プログラム

今日は、大作曲家の隠れた名曲、佳曲を集めてお聴きいただくシリーズの第3回目です。ドヴォルザークのセレナードはやさしいうたに包まれたこのジャンルの名作のひとつ。チャイコフスキーのピアノ三重奏曲は感傷的な美しさと3奏者が主張し合うアンサンブルの妙も聴きどころの名曲です。R・シュトラウスの祝典前奏曲は、めったに演奏されない曲ですが、オルガンとオーケストラの壮麗な音の饗宴をお楽しみください。バロック時代の代表的な室内楽曲であるトリオ・ソナタの優れた一曲に数えられるバッハのト短調ソナタ、甘美な第18変奏が特に有名なラフマニノフの「パガニーニの主題による狂詩曲」、そしてシューマンの実際には3番目の交響曲に当たる第2番は、やや地味な作品に見られがちですが、シューマンらしさが随所に見られる傑作のひとつです。

アントニン・ドヴォルザーク (1841~1904) :

弦楽セレナードホ長調 op.22~ 第1楽章、第2楽章、第4楽章から、第5楽章から
カール・ミュンヒンガー指揮シュトゥットガルト室内管弦楽団
(1982.11.11 東京文化会館大ホールLive)

ピョートル・チャイコフスキー (1840~1893) :

ピアノ三重奏曲イ短調 op.50 “偉大な芸術家の思い出のために”~

第1楽章から第2楽章抜粋

ダン・タイ・ソン (ピアノ) / ヨゼフ・スーク (ヴァイオリン) / 堤 剛 (チェロ)
(1989.7.24 サントリーホールLive)

リヒャルト・シュトラウス (1864~1949) :

祝典前奏曲 op.61

ウォルフガング・サヴァリッシュ指揮フィラデルフィア管弦楽団
(1993.5.18 サントリーホールLive)

*** 休憩 ***

ヨハン・セバスティアン・バッハ (1685~1750) :

トリオ・ソナタト短調 BWV1029~ 第1楽章、第2楽章から、第3楽章から
(ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロのためのソナタ)

オーレル・ニコレ (フルート) / ハインツ・ホリガー (オーボエ)
セルジョ・アッツォリーニ (ファゴット) / クリステイアーナ・ジャコッテ (チェンバロ)
(1989.11.12 ウィーン・コンツェルトハウス、モーツァルトザールLive)

セルゲイ・ラフマニノフ (1873~1943) :

パガニーニの主題による狂詩曲 op.43~ 抜粋

スティーヴン・ハフ (ピアノ)
サイモン・ラトル指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(2007.6.17 ベルリン郊外、ヴァルトビューネ野外音楽堂Live)

ロベルト・シューマン (1810~1856) :

交響曲第2番ハ長調 op.61~ 第1楽章から第3楽章抜粋、第4楽章

リッカルド・ムーティ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
(1995.10.8 ウィーン・ムジークフェラインザールLive)